



会設立からの歩み

今号には昨年8月から今年2月までの活動を記録しました。見出し番号は創刊号からの通し番号です。

49 本年度2回目のニセアカシア芽欠き

6月22日ニセアカシアの芽欠き作業を実施したことは前号で紹介しました。第2回目は10月5日を予定していましたが、ニセアカシアの成長が著しく、わずかひと月ほどで6月と同じような状態になったため、8月6日に急遽追加



作業を実施しました。当日は朝6時から実施。18名が参加して行われた。

実施場所は前回と同じ「健康づくりのみち」。

前回よりもトゲが固く、周囲のミゾソバも繁茂し、大きく立ち上がったニセアカシア以外は見付けるのが難しくなっていた。特に前回手をつけなかったNo.2地点からNo.3地点までの間はニセアカシアが大きく成長し、2メートルから3メートルの高さになっていました。

今回はNo.3地点までで作業を終了し、大森稲荷神社を通じて陸上競技場まで戻ったのは7時10分頃でした。

50 「風の松原を大切に」看板設置

8月10日設置。今年になって松原内でタバコを吸ったり、ゴミを散らかしたりということが目立ってきたので、米代西部森林管理署や山本地域振興



風の松原を大切に

松原にやさしい気くぼりの心を持って帰る時はきたときよりも美しくしましょう。

- ・山火事の大半はタバコです。禁煙にご協力ください。
- ・ゴミはお持ち帰り下さい。
- ・ペットのフンは必ず始末しましょう。
- ・いこいの広場以外の火の取り扱いには、ご遠慮下さい。
- ・公共物を大切に取り扱いましょう。

風の松原に守られる人々の会

局をお願いしていたが、本会の費用で能代市の用地に看板を設置した。場所は長慶寺向かいの大森稲荷神社

入口鳥居脇。

51 文化財探訪ツアーのガイドを担当

9月3日秋田県教委主催「秋田はまるごと博物館」の第2回文化財探訪ツアー一行が八竜町や檜山城址等をまわ

って金勇で昼食のあと風の松原を訪れた。このツアーには秋田市を中心に44名の参加者があり、県の担当者を含め総勢50名。本会からは鷲尾、浅野、佐藤の3名が説明にあたった。



52 雑木除去作業

9月21日・22日は港湾道路からロケットセンターへ向かう男鹿街道脇の道路の雑木除去作業を行った。



21日は12名、22日は15名の参加だったが、仕事がかどおり、能代市が除去した雑木の運搬を協力してくれたの

で二日目は早く終了することが出来た。なお、作業地は県有林なので、後日写真にある大きな看板が設置された。



53 松くい虫防除シンポジウム

9月25日(日)県主催の松くい虫防除シンポジウムが広域交流センターで開催された。基調講演で小林一三県立大教授が「冷涼な地におけるマツ材線虫病被害対策のあり方」と題して、「秋田方式」(被害木の全量駆除ではなく、マツノマダラカミキリの寄生木に絞った駆除の方法)について詳しく解説した。本会からは鷲尾、福司、浅野、安井の4名が参加、会長の鷲尾氏はパネリストとして「地域住民が主体となった松くい虫被害対策の事例」を発表した。

54 修学旅行ガイド



千葉市の千城台
高校2年生が10月
24日(月)、修学
旅行で能代山本
を訪れ、能代市
で風の松原散策
や、八森町の留
山でブナ林散策、
峰浜村でハーブ
グッズ製作、八

郎湖でのバスフィッシングなどを体験した。

このうち風の松原にはコース名「風を感じてエネルギーとなる」の5名を皮切りに、4班に分かれて約50名の生徒が訪れた。そのガイドを本会の福司、秋林、小林が担当した。



昼食はいこいの広
場できりたんぼ体験
であったが、福司副
会長は松原だけでなく、きりたんぼの具
材の説明もして能代
PRの役割を果たした。

55 佐賀発 白砂青松が消えてゆく

11月19日NHK教育テレビ「地球だい好き 環境新時代」というシリーズで、「佐賀発 白砂青松が消えてゆく」の放映があった。全国の松原の中で唯一国の「特別名勝」



に指定されている佐
賀県唐津市の「虹の
松原」の白砂青松が
消える危機にあると
いう。その放送の中
で、松林の荒廃の原
因として下の写真に
ある4つを主なもの

として挙げていた。

白砂青松を守るために広葉樹の侵入を防ぐための試みが紹介されていた。スローガンは「落ち葉を減らして松原を守れ」。松葉掻きをして砂地の富栄養化を防ぐ必要を説いていた。市街地に近い部分はどうしても広葉樹化が避けられないので、クロマツを堅持する範囲を決め、その部分を徹底的に守る活動をする「ゾーニ



ング」について説明していた。風の松原のためにも真剣に考えて活動に移さなければならないと思った。この番組のビデオを見たい方は事務局に連絡をください。

56 豪雪の被害



この冬の豪雪は
風の松原のクロマツ
にも大きな被害を出
しています。

1月18日付け北羽新
報は「米代西部森林
管理署は、昨年末と
今月6日に被害調査
を実施。昨年末は14
本、今月は約20本の倒木を確認している」「現在確認されているものは幹の細いものがほとんど」と報じているが、もっと多くの被害が出ています。

57 大森橋架け替えによる保安林解除

老朽化が進んでいる大森橋の架け替え工事に伴う保安林解除について能代市から意見を求められたので、平成18年1月13日に臨時役員会を開催して協議した結果、事業計画は了承。市はもっと早く対応を。駐車スペースを作らないように(ゴミ放置の原因になる)。防風ネットの必要性。今後のことを考え市との定期的な意見交換会の必要の5つを能代市に申し入れた。

58 生活環境保全林整備工事

平成17年度の生活環境保全林整備工事(健康づくりのみち)が始まった。期間は平成17年12月27日から平成18年3月27日まで。

今回の整備区域は右図きみどりの部分。歩道改良・新設が行われるのは、太い赤線の道路計1800mである。2月1日現在、大雪を除雪しながら工事が行われている。

本会では、1月19日に以下の4点を米代西部森林管理署に申し入れ、話し合いをしている。道路幅は狭くてもいいのではないかと。1.5メートル以下ではどうか。立木は伐採しないで、避けること。道路内に残してはどうか。樹種名や野鳥に関する名札掲出を考えている。今後もニセアカシアの芽欠き作業をやりたい。

